

様式第3号（第14条関係）

平成28年2月12日

会議概要

審議会等の名称		平成27年度第2回市川市社会教育委員会議	
開催日時		平成28年1月28日（木）14時30分～16時30分	
開催場所		市川教育会館 多目的室	
出席者	委員	滝沢直樹委員長、横田恒幸副委員長、清水輝和委員、緒方紀子委員、寺内理絵子委員、原由美委員、石原みさ子委員、成田久江委員、千坂行雄委員、野澤順治委員、立原充彦委員、天野敏男委員	
	所管課	生涯学習部 社会教育課	
	関係課	青少年育成課、社会教育課、中央図書館、考古博物館	
議題及び会議の概要		公開・非公開の別	非公開の場合の理由
平成27年度「学校支援実践講座」について (報告)		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
		公開・非公開	・会議公開指針第6条第 号該当 ・公文書公開条例第8条第 項第 号該当
傍聴者の人数		0人	
閲覧・交付資料		・平成27年度「学校支援実践講座」(報告資料)	
特記事項			
所管課		生涯学習部 社会教育課（内線：4331）	

平成 27 年度 第 2 回社会教育委員会議録

平成 28 年 1 月 28 日（木）14:30～16:00

市川教育会館 3F 多目的室

■出席者

社会教育委員 滝沢 直樹 委員長、横田 恒幸 副委員長、緒方 紀子、
天野 敏男、清水 輝和、立原 充彦、原 由美、寺内 理絵子
石原 みさ子、成田 久江、千坂 行雄、野澤 順治（12名）

生涯学習部 千葉 部長、秋本 次長、板垣 教育総務課長、木村 就学支援課長
戸佐 教育施設課長、小畔 青少年育成課長、川野 社会教育課長、
大里 中央図書館長、須藤 考古博物館長
事務局：藪崎 主幹、助名 主幹、青山 主幹、吉野 副主幹、大崎 主査
斎藤 主任、（15名）

■会議録

発言者	内 容
滝沢委員長	・挨拶 および 市川市社会教育委員設置条例に基づく会議成立の確認
事務局	報告事項 1 「平成 27 年度 学校実践講座」について ※別紙参照
滝沢委員長	地域を学校が必要としていることから、学校支援実践講座などで地域のみんなで育てることが必要だが、危険も含まれている。まずは、学校支援実践講座に参加した方の報告をお願いしたい。
清水委員	学校での交流会の中で、実際にいじめのような話を子どもから聞いた。市川でもいじめは現実にある。
緒方委員	子どもが大人と話をする機会があまりないのではないか。その点でもよい機会となつた。
寺内委員	学校での交流会では、子どもは一生懸命話をしている。他の研修会でも地域のかかわりについて言われている。今の母親も地域と関わっていない。保護者にも地域に関わってほしい。
立原委員	子どもを通して再度学べる。子どもは変わらず、環境が変わった。地域の人として自分が教わったことを教えたい。話を聞いてほしい人がたくさんいる。そこを大切にすることで P T A もうまくいくが、時間がかかる。
滝沢委員長	興味を持っている人が関わることが大事で、やる気のある人を掘り起こしていくことがよい。効率よくやっていくためにはどうしたらよいか。

成田委員	人権で電話でのいじめの相談を受けているが、この講座では子どもと直接話せるのがよい。明るく子どもと話ができたことから、地域の大人が学校に入ることは有効なのではないか。
滝沢委員長	地域の代表と学校側の立場の違いもある。地域側の意見としてどうか。
天野委員	近所に住んでいるのに普段知らない子がたくさんいる。顔を知ることが社会教育につながっていく。町ぐるみ、近所で顔見知りが広がっていくとよい。
滝沢委員長	これが普通になるとよい。
原委員	地域の人が入ることによって、子どもの大人に対する目が変わるものではないか。
滝沢委員長	学校側の意見をお願いする。
野澤委員	子どもが気を許しているのはよい。事後の様子について学校から話を聞いてもらいたい。
千坂委員	よかったという意見が多い。支援者の位置を大事にしてやりたい人が続けられるようにする。感想文に載っていない子はどうなのか。地域も学校も一緒にやっていくことが大切。
横田副委員長	学校と社会教育について、何をやっても学校はプラスになる。継続が今後の課題となる。しかし、この講座に学校側が依存するのでは意味がない。学校・家庭・地域がそれぞれ自立できてこそ、連携していくようになる。
石原委員	話し合いでいじめがなくなるとは思えない。支援者を派遣するのはよいが、SOSを発している子を見つけることが大切ではないか。
滝沢委員長	課題を含めて考えていく必要がある。市の方も参考になったのではないか。
清水委員	事前に校長先生より実態については話があったが、実際に子どもと話してみると違った面もあった。マイノリティーのある子と話ができるのはよかったです。その子の感想が知りたい。
滝沢委員長	実践講座の報告資料に書いてあることと、今の話では違和感がある。講座自体をやることはよい。市川市には支援をしようとしている人たちがいる。その方々を取り込んでいってほしい。
事務局	千葉県社会教育振興大会報告 2/5 葛南地方生涯学習振興大会について H28/10/26～28 全国社会教育研究大会千葉大会のお知らせ 次回社会教育委員会の開催について H28/5/26 の予定

平成 27 年 2 月 12 日 (承認)

市川市社会教育委員長 滝沢 直樹



平成27年度

学校支援実践講座

交流会の記録

地域支援者の皆様、交流会へのご協力ありがとうございました。

講座アンケートの結果と各学級の子ども達の
「声」をまとめましたので、是非、ご覧下さい！



平成27年度

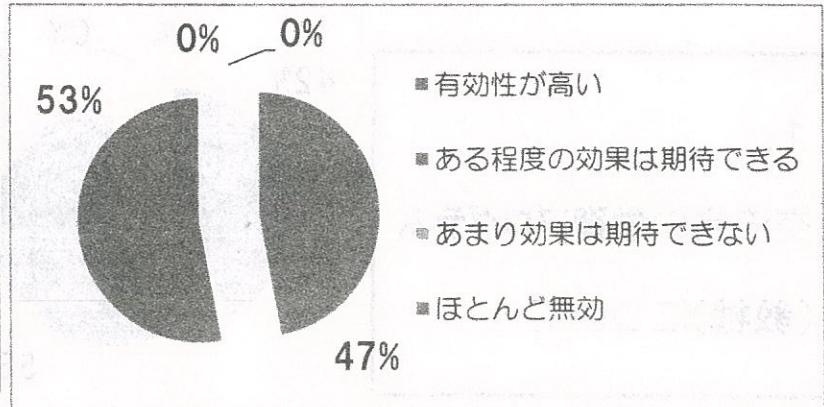
交流会 日程

- [1.] 9月7日(月) 大和田小学校 3年生
- [2.] 9月10日(木) 富美浜小学校 5年生
- [3.] 9月24日(木) 大野小学校 3年生
- [4.] 9月29日(火) 福栄小学校 4年生
- [5.] 10月5日(月) 大和田小学校 5年生
- [6.] 10月7日(水) 稲荷木小学校 5年生
- [7.] 10月8日(木) 第六中学校 2年生
- [8.] 11月11日(水) 東国分中学校 1年生
- [9.] 11月18日(水) 福栄中学校 2年生
- [10.] 11月26日(木) 妙典中学校 1年生
- [11.] 12月1日(火) 新井小学校 6年生
- [12.] 12月9日(水) 下貝塚中学校 1年生
- [13.] 12月10日(木) 稲荷木小学校 3年生
- [14.] 12月11日(金) 大野小学校 5年生

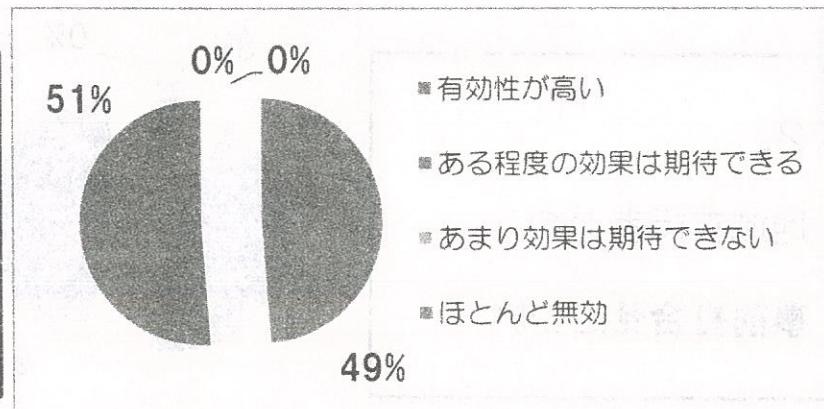
合計…11校43学級

受講者アンケート【結果】

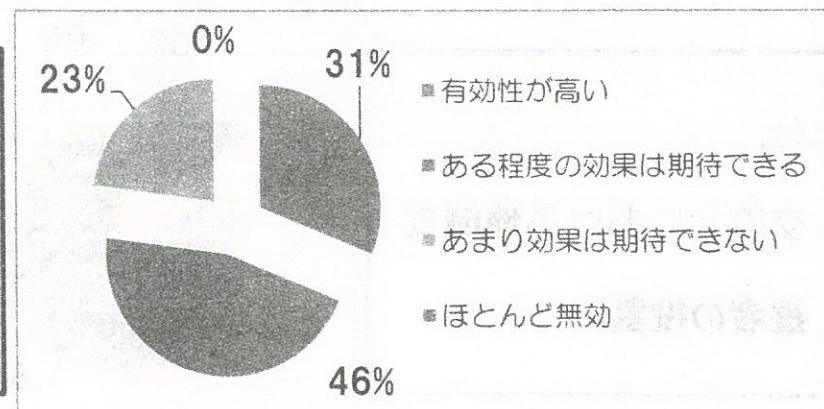
1.
交流会の学習プログラム
(教材)について



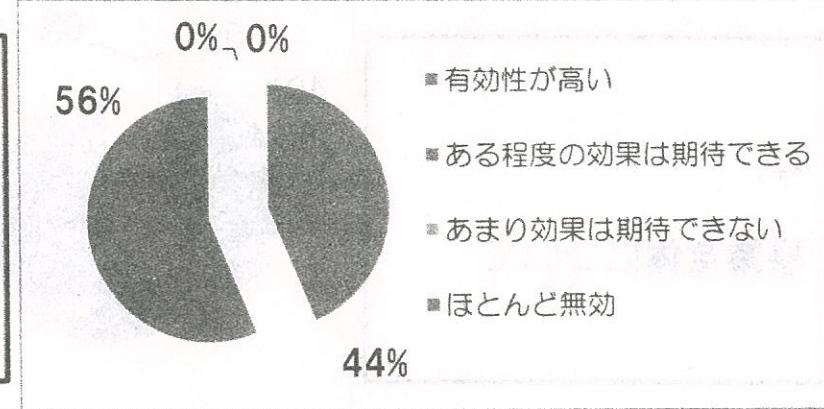
2.
第2回・第3回講座の
授業演習について



3.
学級担任との
事前打合せについて

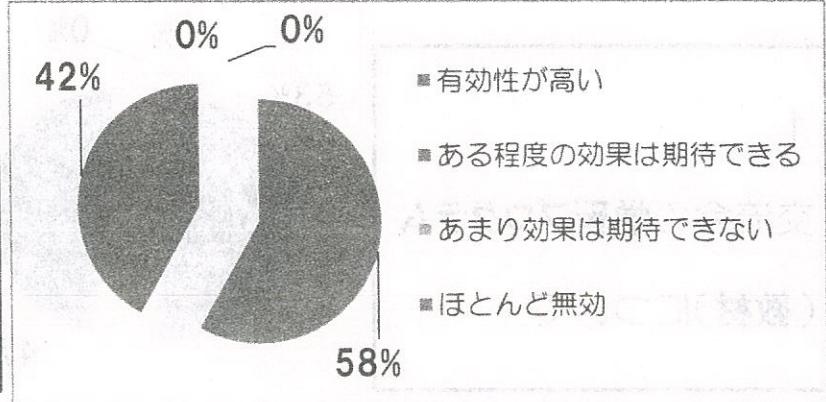


4.
事業全体について

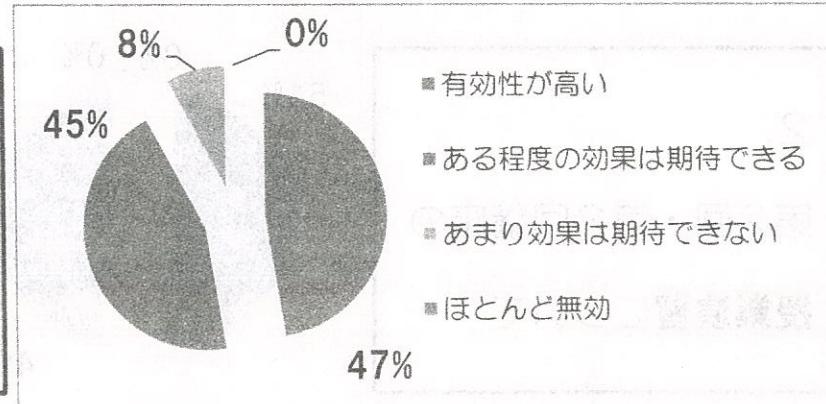


学級担任アンケート【結果】

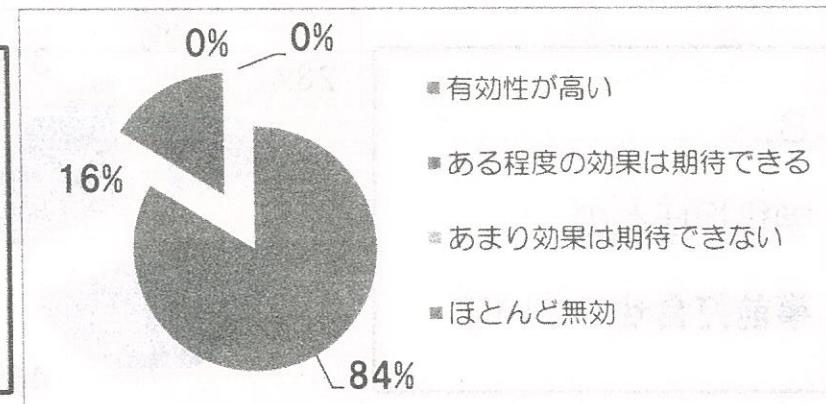
1.
交流会の学習プログラム
(教材)について



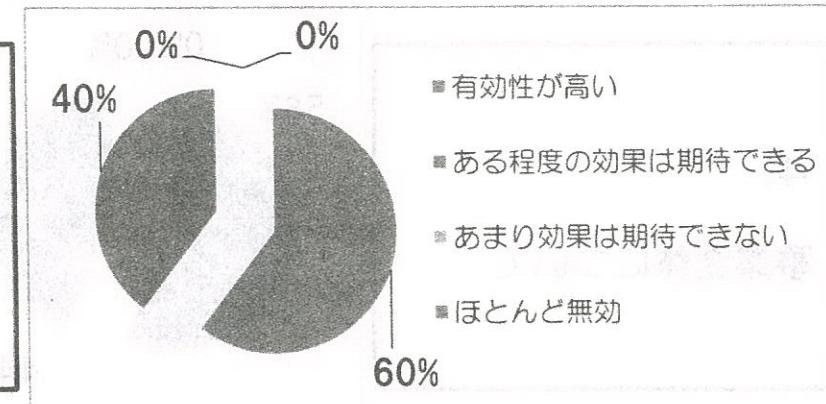
2.
地域支援者との
事前打合せについて



3.
交流会における地域支
援者の役割について



4.
事業全体について



平成27年度 学級担任及び児童・生徒 交流会感想文

※全て一部抜粋

【小学校 担任】のちいさな子たちが自分の意見を述べる機会をもつて、とても充実した時間でした。

○今回のように、じっくりとたくさん子どもたちの話を聞いてくれる時間は取れないのが実情です。本当に満足げな充実した表情の子ども達を見て、やって良かったと心から思いました。

○地域の方と考える道徳は、いつもと違った雰囲気で、子ども達にとって良い刺激となりました。

○地域の方と考える道徳は、いつもと違った雰囲気で、子ども達にとって良い刺激となりました。子ども達の感想からも「やってよかった」「今後に活かしていきたい」という内容のものが多く、今後の子ども達の変容が楽しみです。

○実際に起こりうる事例で、子ども達とともに、いじめについて考える機会があったこと、普段は教師1対児童38の授業を地域支援者の方に入って頂いたおかげで、少人数の学習が出来、発言の機会が増えたこと、大変有効であったと思います。

○学級の中だけで考えると子ども達の価値観が固定されたものになりやすいと考えています。今回の企画は、そのような固定された価値観から脱却する良い機会になったと思います。また、支援者の方々も子ども達に様々な関わり方をしていただいたので、普段、考えが止まってしまうような子も意見を出すことが出来ました。

○地域の方も子ども達の意見を肯定的に受け取って下さり、話しやすい雰囲気でした。また、自分の親よりも年上の方からの言葉は、普段よりも深く心に届いたと思います。

○普段はなかなか自分の意見を言えずに終わってしまう子も必死に考えていました。地域支援の方々の温かい雰囲気が子ども達を安心させてくれたのだと思います。

○普段と違う児童の姿を見ることが出来て、有意義な時間を過ごすことが出来ました。難しいテーマの中、一生懸命考え、自分の意見を伝えることが出来ていたと思います。一回ではなく、定期的に地域の方と交流する時間があると、学習が深まると思います。本時の児童を見て、大変刺激のある時間だと思いました。是非、また交流したいです。

○学級の実態に合わせて事例を選択できる点が非常に良かったです。子どもたちも自分の学級の様子と重ねながら、楽しく学習することができました。地域支援者の方も、子どもの話をよく聞いて下さり、授業終了後に、子ども達が話した内容を嬉しそうに報告してくれました。どの子も、「人との関わり方」についてじっくりと考えることができたようです。

○グループ（5、6人）の中に大人の方が入って話し合いを進めるというのは、初の試みでした。自分が入るよりも素直（？）に話している子が多く、「いつもの3倍話せた！」という子もあり、道徳としてだけではなく、別な面でも効果があったように感じます。また、話し合いの進め方や相手の話をどのように聞くか、など、基本的な学習習慣の確認もきちんと出来たと思います。

●大人の考え方で話を方向付けることなく、生徒の柔軟な発想や考え方をそのまま活かして話し合いを進めていただけたため、その内容や過程は大変興味深いものでした。事例も架空のものでありながら、

【中学校 担任】

●大人の考え方で話を方向付けることなく、生徒の柔軟な発想や考え方をそのまま活かして話し合いを

進めていただけたため、その内容や過程は大変興味深いものでした。事例も架空のものでありながら、

●日常生活の延長線上で起こりそうな身近なものであったため、生徒一人ひとりが我が事のように真剣

に考えることが出来たように思います。

●自分の意見を出すということが苦手なクラスで、特に最近そのことで、クラスがこわばっている状態でした。心配して臨んだ当日でしたが、支援者の方々のおかげで、生徒達が思っていることや、いつも表に出せない意見を出しているのがはっきりと見て取れました。

●支援者の皆さんとの表情や穏やかな、また、ユーモアを交えた言葉によって子ども達が短時間で打ち解け、思ったことを言える環境ができていたように思います。どんな生徒がいるか良く分からない状況で入って頂く支援者の負担は大きいかもしれません、子ども達には、地域にいる大人の考え方を真剣に聞いて受け止めるという普段の生活の中でそうそうない経験をさせていただいたと思います。3年間を通してこのような取組みができると、なお、充実感が高められるのではないかと感じました。

●地域との交流、普段とは違う意見交換等、生徒にも刺激のある1日だったと思います。意見交換を授業内で行なうと、決まった生徒の発言が多くなるため、どうしても意見を書かせて考えを引き出す形になってしまいます。この日のように、司会がいて、全員の発言が引き出せる機会は、本当に貴重でした。また、地域支援者のキャラクターが生徒達の緊張をほぐし、意見交換しやすい雰囲気を作ってくれたことも助かりました。

●担任として、クラスの中からあんなに優しい意見が出てきたことが驚きでした。同時に大変嬉しくもありました。

●心と心の通い合いが薄くなっているとよく言われます。その中で、本音トークの出来る場の設定されることは、有意義だと思います。地域支援者の方には、これからも子ども達のために素敵なお手本「心」の提供をお願いします。

●生徒達の感想の中に、日頃、会話らしい会話をしたことが無かった人が、自分と同じ考えだったとか、仲の良い友達だと思っていた人が、違う意見だったり…など、今日の交流会は本当にやりがいがあり、本学級生徒のためには、とても役立つものになりました。

【小学校児童】

☆地域の方が来てくれたおかげで道徳が楽しくなりました。(地域の方から)アドバイスをもらい、主人公の気持ちと、今はどう思っているのかたくさん書きました。地域の方が、僕が気づいたことを発表してくれました。すごく嬉しかったです。《小3・男子》

☆生まれて初めてすごくいっぱい発表をしてすごく楽しいからもっと発表したいと思いました。これから、もっと発表したいと思いました。《小3・男子》

☆地域の人といじめはどういう事なのかと、それをどうすれば解決できるのか、色々なことを考えて楽しかったです。いつもの授業より答える回数多かったです。友達の意見や他の班の意見で「なるほど」と心の中で思ったこと多かったです。《小3・女子》

☆話し合いをして、自分の意見ではなく、他の人の気持ちや意見や地域の人の意見を言い合って、色々なことが分かりました。人とのかかわりでは、他の人の意見を言い合ったり、地域の人の話を聞いたいはることが大切だということが分かりました。《小3・女子》

☆色々な意見を出し合って、いっぱい、「その考え方、いいね！」と言ってもらい、本当に嬉しかったです。私は、この意見を使い、優しい人になろうと思います。色々な意見が出てまとめてくれました。本当にありがとうございました。《小4・女子》

☆今まで、その人の気持ちを考えたいすることがあまりなかったので、人の気持ちを考える時は、こんな感じなんだな。と思いました。《小4・男子》

☆男子の話は男子、女子の話は女子がとても共感できる内容でとても楽しかったです。注意した方が良いと言う意見、このままで良いという意見、自分の考えが変わった、もっともっと自分の考えが深まっていったり、とても楽しかったです。《小5・女子》

☆地域の方とお話をさせていただいたて、「いじめ」のことや「ライン」のことを改めて考えることができました。ありがとうございました。相手の気持ちを分かってあげることや、いじめを注意する勇気が必要なのだと思いました。傷ついている人を助けられるような人間になりたいと思います。《小5・男子》

☆「交流会」で一番良かったと思うのは、自分の考えだけでなく、他の人の意見もたくさん聞けたことです。いつもの道徳では、自分の考えしか分からなかったけど、今回は色々な人の意見が聞けて、考えが何倍も広がりました。《小5・女子》

☆人の間わりについて勉強して、改めていじめはダメだし、いやなことだなと思いました。ケンカをしたときも、相手があやまるのを待つのではなくて、自分からあやまろうと思いました。相手が笑っていても、本当にそう思っているのか、考えてから行動しようと思いました。《小5・男子》

☆クラスのみんなが同じ意見でなく、一人ひとりが違う意見を持ってて、とても素晴らしい授業ができたと思いました。いつもあまり発表しない友達が、自分から積極的に言っていて良かったと思いました。個人的に、私がいつも発表しているときよりも、今回の交流会のほうがたくさん発表できたり、意見を言えたと思いました。

《小5・女子》

☆話が途絶えたときに、地域の人が「じゃあ、こうだったらどう?」「自分だったらどうする?」と質問してくれたので、いっぱい話が出来ました。地域の人は遠くの人にも「あなたはどう思う?」「○○さんはどう思う?」などと、みんなが順番に話ができるようにしてくれました。それに、話を聞いてくれているときに「うん」「うん」と相づちを打って、とても一生懸命話を聞いてくれたので、とても嬉しかったです。2時間たっぷり地域の方と話ができて、とても良い経験になったなぁーと思いました。交流会とても楽しかったです。《小5・女子》

☆話の中で、私が思ったことを(地域支援者が)きちんと聞いてくれたり、話をまとめたり、課題をひろげてくれて嬉しかったです。最後に地域支援者の方からのお話がありました。「いじめはダメ。」私は、この言葉を聞いて心ひかれていきました。《小5・女子》

☆ケンカや軽いいじめは完全に無くせるものではありません。ですが、今日の道徳でいじめられている人に、どう話しかけてあげられるかなどを考えられました。もし、クラスで軽いいじめがあったなら、遊び感覚でやっている人を注意したり、いじめられている人に「痛かったらやめてって言って良いんだよ」とか言ってあげたいなと思いました。《小5・男子》

☆人を思いやる心の大切さを僕は改めてこの授業で感じました。また、人とかかわるということが必要ということも感じました。他の人の意見を聞いても、仲間はずれにされたときに一声掛けるということなどの、自分とは違う意見があって、こういう見方もあるんだなぁと思って、新しい意見をどんどん出せたので、こういう場面でも人とかかわっているだなぁと思いました。《小5・男子》

☆地域の方ともいっぱい話せてよかったです。地域の方のおかげで私の思ったことなどが上手く話せたいしたので良かったです。地域の方はやさしくてさわやかな人だったので、良かったです。「思ったことを話していいよ」とか「その意見おもしろいね」などと言ってくれて面白かったりしたので良かったです。また、地域の方の話し方が聞きやすかったので、いい道徳の時間になったなぁ～と思って本当に良かったです。《小5・女子》

☆交流会での話し合いや事例を通して、改めて「いじめ」は良くないものだなと実感しました。ニュースでやっていたり、新聞に書かれているのは見たことがありましたかが、自分とは関係ないと思っていたました。しかし、交流会を通して「いじめ」の根源や原因は意外と身近なところにあったのだと分かり、「いじめ」は悪いものなんだという印象が心に焼きつきました。今までに無い経験で、緊張しましたが、地域の方々や班のメンバーと話していると、みんなが自然と本音で話すようになり、親しくなれたような気がしました。《小6・男子》

(中学校・生徒)

★中学生になってから、なかなか地域の方々と触れ合う時間が無かったので、地域の方々と触れ合えてとても楽しかったです。やはり大人の方々なので、中学生と違って話し合いの進め方や発表の仕方がとても上手でした。いつもの学級会だと、全く誰も意見を言わなかったのですが、今回の授業では、たくさんの意見を出すことが出来ました。話し合いをして、やはり人それぞれ考え方が違ったり、同じだったりするんだと思いました。

《中2・女子》

★僕にとって、この交流会は学級について改めて見直す良い機会になりました。今回考えた2つの事例は、自分たちのクラスを含めたどのクラスにも起こる可能性がある出来事で、より真剣に考えるべきだと思います。今日話し合った事は、決して無駄ではなく、今すぐにでも生かせることだと思います。事例が現実になる可能性もあります。その時は、今日、たくさん出た意見を思い出して、積極的に行動したいと思います。《中2・男子》

★話し合っているときは、とても活発に意見が出ていたと思います。それは、地域支援者の方々が一人ひとりに話を振って、話し合いを上手に進めてくださったからだと思います。私たちの班では出なかった意見や考えがたくさんあって、とてもびっくりしました。「そういう考え方もいい!」と思うものもあれば、「それは少し違うかな」と思うものもありました。今までよりも思考の幅が広がった気がして嬉しかったです。《中2・女子》

★やっぱり、自分と違う考え方の人かいたり、人の意見に共感したり、自分自身は人とのつながりを大切にするためにはどうするのかな、と考えたりして、とても良い経験ができました。交流会をやったことで、大切なものについて改めて考えることが出来たので良かったです。《中2・女子》

★普段、あまり地域の方とお話しすることがないので、今日、こういう機会に地域の方と話すことが出来て良かったです。いつもの道徳の班での話し合いに地域の方が加わることで、班としての意見がうまくまとまり、「ここは○○なの?」や「自分達はどう?」などの質問をされて、新しい自分の考えが生まれたりしたのも良かったと思います。また、2つの話題にそって考えた他の班の意見や、同じ班でも、自分以外の意見を聞くことで、こんな考え方もあるんだなと思いました。《中1・女子》

★色々な人間関係を知れてよかったです。人それぞれ考え方や、やり方が違って、それで仲良く出来る人もいれば、一人ぼっちになってしまう人もいるということを改めて理解することが出来ました。自分も、場の空気をあわせて、いけないと分かっていても、人に嫌な事をしてしまったことがあります。今思うと、意味もない事をやっていたと思いました。そして、反省できました。今日、改めて理解したことによって感じることが出来ました。《中1・女子》

★班員だけだったら、絶対に話はまとまらなかっただけれど、地域の方がいると結構よく話がまとまった。事例を見ると、自分達にあてはまるものもあったから、普段思っていることとかで、言えない事とかが言えて良かったと思う。《中1・男子》

★よくある話だったので、よく考えて発表できたと思います。班の友達の感想を聞いていると、私と全く違う意見があって、「そんなふうに考えたんだぁ~」と少しひっくりしました。友達の思ったことに意見等を持って、しっかり言えたので良かったです。クラスの友達関係でも同じようなことがありますか、今日の交流会をきっかけに、少しずつ良いで変わっていけたら嬉しいです。《中1・女子》

★私は、いつもは言いたいことが言えない性格なのですが、今日は一人ひとり話す機会があったので、自分の気持ちをはっきりと言うことができました。私がこう思っていても、相手はこう思っているんだなということが分かり、みんなの意見をしっかり聞くことができました。話すのと話さないのでは、やっぱり違うなと思いました。話すと自分の気持ちがしっかりと相手に伝えることができ、とても気持ちがスッキリしました。《中1・女子》

★クラスの人との関係、こんな場合はどうしたら良いかな?というのをしっかり考えることができた。その人の立場、逆の立場など考えることができて、それが良かった。2時間、時間をとってこういう風に考える機会がなかったから、じっくり真剣に考えることができて良かった。相手がどういう立場なのかをじっくり考えることができ、地域の人(教えてくれた人)に感謝しています。《中1・女子》

★前回は、6年生の時にやって、6年生の時は色々な話し合いで笑いもありながら、みんなの気持ちが同じ所とかもあって、とても楽しい思い出がありました。そして、今回も楽しみにしていて、みんなの色々な意見を聞くことができて良かったです。中学生になって、自分の価値観が変わっていることが分かりました。《中1・男子》

★班での話し合いだと、たくさん意見を言えたし、言いやすかったので良かったです。小学生の頃も似たようなものをやったけど、やっぱり、小学生の時と中学生になってからだと自分やみんなも考え方少しずつ変わってきていました。今回やった内容は、今のクラス、学年に当たる所があったので、これをもとに、みんなが「気をつけよう」という行動ができたらと思います。《中1・女子》

★「いじめ」など、もしかしたら自分も関わっているかもしれないような身近な問題について、自分一人で考える事は、とても難しく、考え方も一方的になってしまいます。今回のように、地域の方と話し合う場を持つ事ができ、とても貴重な経験となったと思います。これからも地域の方と共に、学級内の人間関係だけでなく、学校と地域の関わりについてなど、多くのことを考えていくべきだと思います。《中1・男子》

人をつなぐ

未来へつなぐ

市川の教育

【編集】

市川市教育委員会

生涯学習部 社会教育課

住所：市川市南八幡1-17-15

TEL: 047-383-9386